平成３０年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　№65

H30. 8. 2　「旭川夏まつり」

猛暑続きの北海道も８月に入りましたが、この暑さは今後どうなるのでしょう。

生徒の夏期講習は７月で終了しましたが、３年次生は教室や自習室で引き続き学習に専念しています。１・２年次生は、熱中症に気をつけながら部活動等に励んでいます。「夏は暑くて当たり前」とは認識していても、今年は異常な感があります。

そんな中「旭川夏まつり」が開催され、開会式・セレモニーで本校吹奏楽局が市の依頼を受け、大勢の市民の元気を取り戻す素晴らしい演奏を届けてきました。夏ばてを吹き飛ばし、演奏後の「納涼花火大会」を盛り上げた演出に、リベライン旭川パークは大きな拍手に沸きました。









All for one, and one for all.　№66

H30. 8. 4　「北海道150年ユースセッション」

北海道の名付け親である松浦武四郎が「北加伊」という字を当ててから１５０年、その間この地も大きな変化を重ねてきました。



この度、命名１５０周年記念事業の一環として「北海道友好姉妹提携地域ラウンド・テーブル・ミーティング」が札幌で開催され、本校からも３年次生 折笠 恭祐君と２年次生 竹村 正観君の２名が参加し、国際交流や国際貢献に関する本校の様々な取組を友好姉妹都市の方々に紹介してきてくれました。

この催しは、道内から選ばれた３校（立命館慶祥高・登別明日中等教育学校・旭川永嶺高）の高校生と、姉妹友好関係にある六カ国・八地域の代表が、国際交流の在り方について情報・意見交換をしたり、今後の友好関係をさらに深めるための提言を行ったりするものです。

本校の国際交流への取組が評価されたことも喜ばしいことですが、今回参加した折笠君と竹村君の発表が素晴らしかったというメッセージを受けたことが何より嬉しいです！

「本当にお疲れ様でした！」



All for one, and one for all.　№67

H30. 8. 5　「北大キャンパスツアー」

今年度で２度目となる「北大キャンパスツアー」。５０名近くの生徒が北海道大学に赴き、構内散策、受験説明、各講堂や研究室見学、食堂や図書館等の様子などを直に見て、大学の雰囲気を肌で感じてきました。



進学希望者に「漠然」ではなく、「本物」を自分の目で確かめ、確固たる意志を持ってもらうための重要な取組の一つです。安易に進路希望を下げることなく、高い進路希望に向けモチベーションを維持してもらいたいという願いから、本校では３年間を通じて計画的・系統的に大学との関わりを持つようにしています。



模擬講義、教科連携、出前授業といった各大学との連携を通じて、上級学校の魅力を感じ、日々の学習意欲に繋げて欲しいと思います。

All for one, and one for all.　№68

H30. 8. 9～10　「どさんこ☆子ども全道サミット」

ネイパル砂川を会場に開催された「どさんこ☆子どもサミット」に２年次生 伊藤 彪磨君が参加し、いじめ根絶に向けた取組等の情報交換を行ってきました。

今年度の協議テーマは、「互いに認め合う共生の社会を目指して、未来へつなぐ、みんなでつなぐ、オール北海道としての仲良しコミュニケーション活動の共通テーマを考えよう！」です。全道代表の児童生徒４２名が一堂に会し、二日間にわたる交流を通して今後の取組改善に向けた協議を行いました。

他にも、コミュニケーショントレーニングや北海道出身のオリンピアンとのトークセッション等、実に多様な体験をしてきたとのことです。

今後は、このサミットで見聞したことを本校の取組に是非反映して欲しいと思います。

All for one, and one for all.　№69

H30. 8.11　「あした天気にしておくれ」

第７回「旭川まちなか学生映画祭」に本校の放送局（ＥＢＳ）が参加しました。旭川工業、旭川南さんとの３校合同で、イオンシネマ旭川駅前を会場に上映会を実施しました。各校の生徒の皆さんも会場に来ていたのでしょうか、空席もなくほぼ満員状態。私も興味津々にすべての作品を鑑賞させていただきました。



どの作品にも制作者の個性が盛り込まれ、意図が至る所に反映されている大変レベルの高い作品に仕上がっていました。

本校放送局のタイトルは「あした天気にしておくれ」。胸の高鳴りが止まず、一時も目が離せない作品に、３０分があっという間に過ぎてしまいました。なんと言っても出演者の演技がうまい！言葉も振る舞いも極めて自然で、それがより恐怖をそそります。さらに驚いたことに１年次生が監督？ 今後の制作がますます楽しみです！

All for one, and one for all.　№70

＊エイリョウ・アラカルト　「国際交流協力体験」



夏季休業中に開催されるＪＩＣＡ主催の「中高生国際協力体験プログラム」に、本校から４名（１年次生２名、２年次生２名）の生徒が参加しました。「世界の現実」を理解し、「世界の子どもたちとのつながり」方を体験を通して学びます。

今年度は、旭川市内６つの高校から１７名の皆さんがフィール旭川に集い、世界の子どもたちの現状や、その子どもたちとのつながり方をワークショップなどで体験しました。





普段日本しか見てない子どもたちが、世界を知り、視点を広げ世界の平和に主体的に貢献することは、グローバル社会にあって大変重要なことと考えます。国際理解、国際交流の推進に加え、国際貢献にも目を向けていきたいと思っています。

All for one, and one for all.　№71

H30. 8.19～21　「全国高Ｐ連大会」

「第６８回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会」が佐賀県で開催され、本校からも私を含め３名の役員も皆様に参加いただきました。



連日３０度ごえの気温でしたが、台風等の影響もなく、快晴のなか大変有意義な研修をさせていただきました。「広めよう 高めよう 慈しむ心 ～君たちがつくる希望の明日を～」をテーマに、地元高校生によるアトラクションや著名人による記念講演、全国各校の特色あるＰＴＡ活動の紹介、有識者を交えてのパネルディスカッションなど、充実した内容の大会でした。



子どもたちを取り巻く環境が年々多様化し、複雑化している現代にあって、ＰＴＡが叡智を結集し教育に関わることの意義は極めて大きいと考えます。これからの社会に適応する力はもとより、新たな社会を切り拓く力の涵養に、周囲の誰もが様々な形で子どもに関わっていかなければならない時代です。この大会には、未来の教育の在り方を示唆するヒントがいくつもありました。運営に当たられた佐賀の皆様に感謝したいと思います。

All for one, and one for all.　№72

H30. 8.23～24　「体育大会」

生徒会行事の一つである体育大会を開催しました。「年次をこえた交流やクラスの結束をより強固にすること、日頃の身体づくりの大切さを学ぶこと、活動のメリハリを今後の学校生活の充実に結びつけること」を目的としています。

心配されていた前日の雨もあがり、絶好の大会日和となりました。外会場ではソフトボール、サッカー、キックベースボール、内会場ではバスケットボール、ドッジボール、バレーボールと様々な種目が用意されています。準備は生徒会執行部と体育委員、審判は各

部活動専門の選手と、「運営」はすべて生徒主体で行われ、そうした中にも子どもたちの大きな成長が見受けられます。どこにいても、生徒たちの大きな歓声が聞こえてきて、学校中がとても賑やかです。熱中対策が心配されるので、予防に保護者が関わるというのもありかもしれませんね（「飲料水テント」とか・・・独言でした）。

さて、今年度はどこのクラスが優勝するのでしょう？　これから観戦に行ってきます。



All for one, and one for all.　№73

＊エイリョウ・アラカルト　「当番校業務」

上川支部「書道展・研究大会」の当番校業務をさせていただき、１４校２３５名の部員の皆さんをお迎えしました。

書道には様々な書体や形態があり、昨今では振り付けを交えたパーフォーマンスが話題ですが、イベント等への参加依頼も多数あるとお伺いしました。

文化会館で展示している各校の作品鑑賞や合評会をはじめ、本校体育館では臨書・創作の席書会を通して研究交流会等を行いました。暑さにめげることなく、精力的に活動していた各校書道部の皆さんには敬意を表します。また、当番校として準備にあたった本校書道部の皆さん、本当にお疲れ様でした。



書道部の活動が大いに活性化し、切磋琢磨のもと、この管内から大作が次々と誕生してくれることを願っています。

All for one, and one for all.　№74

H30. 8.27　「新聞部研究大会」

「高等学校文化連盟上川支部新聞研究大会」を本校を会場に実施しました。支部７校から総勢３４名の局員・部員が一堂に会し、活動のさらなる活性化に向けた熱心な話し合いを行われました。



午前中は本校向かいに位置する「旭川ラーメン村」を訪問し、取材活動やラーメン神社見学など実施。午後からは、午前中の「取材内容の記事作り分科会」と「現代の高校生を取り巻く問題について意見交換を行う分科会」に分かれての研究協議を実施。どちらの分科会も熱心な話し合いが行われ、参加者にとって実り多い一日となりました。

本校からも４名の局員が参加し、事前準備はもちろん、司会・進行など運営面でも大活

躍でした。
　この度、ご協力をいただいた旭川ラーメン村の皆様をはじめ、関係各位にはこの場をお借りし厚く感謝申し上げます。

All for one, and one for all.　№75

＊エイリョウ・アラカルト　「写真部門：最優秀」



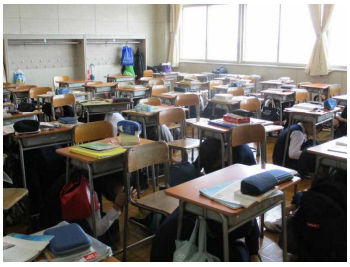
　北海道高文連上川支部写真部門の審査会が２８日に行われ、本校１年次生　菊池　綾香　さんが最高賞にあたる「最優秀賞」に見事輝きました。この大会には、上川、留萌両管内１３校から５８３点もの応募があり、菊池さんの「写真と少女を印象的に捉えた『ｍｅｍｏｒｉｅｓ』」がその頂点に立ちました。最優秀賞の受賞は昨年の山形さん（現在２年次生）に続いて２年連続受賞の快挙となります。
　入賞、入選作品は９月１日～６日まで、「東川町文化ギャラリー」で展示されるとのことです。
　写真部ももちろんですが、吹奏楽局の全道大会、放送局の全国大会、書道部の全道大会への出場と、文化系部活動の目覚ましい活躍にも目が離せません。

All for one, and one for all.　№76

H30. 8.31　「シャエイクアウト」



　大規模な地震発生を想定した「シェイクアウト訓練」を今年度も実施しました。防災に対する正しい知識や自己防衛意識の涵養は、現在の環境だけではなく、今後様々な場所で活躍する生徒たちにとって大変重要なことと考えます。



一斉に机の下に潜り込む生徒

　地震発生の合図で、全校生徒が一斉に①姿勢を低くし、②頭を守り、③揺れが収まるまでじっとする姿勢を保ちました。おおよそ２分程度の訓練ですが、生徒は皆真剣に取り組んでいました。
　この訓練は、北海道で１６万人以上の方々が「同一日時に一斉に行っている訓練」です。今後も防災リテラシーの向上に務めていきます。